

宮崎市の生涯スポーツの現状と今後の方向性

平成29年4月11日(火)

宮崎市全員協議会室

AM 14:00~

1. 宮崎のスポーツの現状

スポ少や部活動等の勝利至上主義による「練習のやりすぎ」の問題

- ・ 2極化への拍車と小学生からスポーツ傷害の増加 詳細有り
- 各種大会の増加による地域行事離れ
- 施設の慢性的不足・・・市主催大会の施設が取れない

2. 生涯スポーツ環境の問題点

- 縦割り行政による分散化 詳細有り
- 分散化による予算や参加者確保に苦労
- 施設や日程、役員等の重複・・・確保が困難

3. 地区体育会の現状（市内に23の体育会）

- 地区体育会の予算減少 詳細有り
- 地区対抗の予選会の参加チームが大幅に減少している 詳細有り
- 地区体育会組織の崩壊？
 - ・ 地区体育会役員のみなり手がいない
 - ・ スポーツ推進委員の推薦も満足にできない
- 3月20日時点で、23地区の内10地区で不足（1月末が締切）
- ・ スポーツ推進委員と会長のみ地区が増加

4. 国のスポーツ基本計画

- 20年前から、ヨーロッパ型のスポーツクラブを目指す
- 先進国ドイツと日本の比較（ドイツは、200年の歴史有り） 詳細有り
- 国のスポーツ推進計画 詳細有り

5. スポーツが果たす医療費抑制

- 医療費抑制の事例 詳細有り
- 富山県などの医療費抑制の要素 詳細有り

6. 総合型地域スポーツクラブと連携した地区体育会の状況

- 東大宮地区体育会の参加状況 詳細有り
- ・ 地区体育会事務局 = 東大宮スポーツクラブ

7. 宮崎市型の総合型地域スポーツクラブへの取組

- 国のスポーツ基本計画 総合型地域スポーツクラブ 詳細有り
- スポーツ庁の誕生 詳細有り
- 国の方針に沿った取組が最善では？ 詳細有り
- ・ 地区体育会、まちづくり推進委員会、スポーツ推進委員等の融合

8. 仮称「生涯スポーツ環境検討委員会」の立ち上げ？

- 未来の子どもたちのため
- 医療費抑制のため
- 健康長寿日本一を目指して